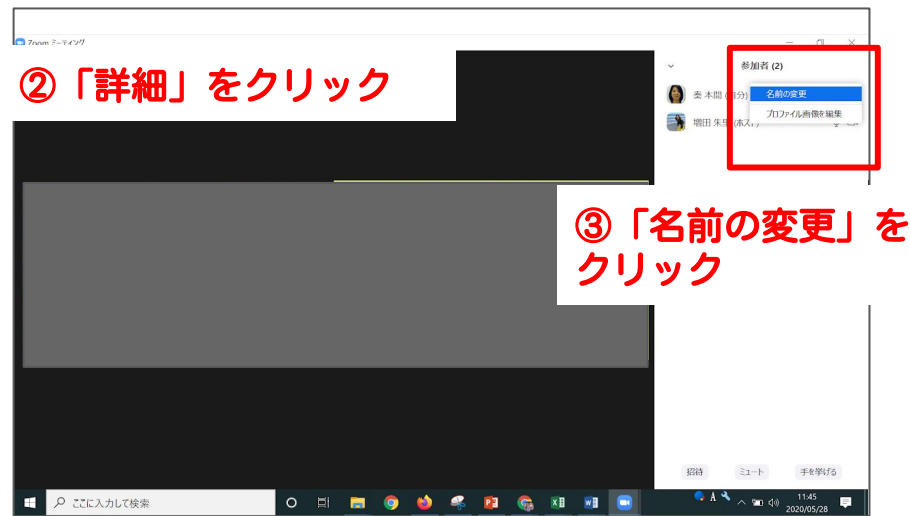
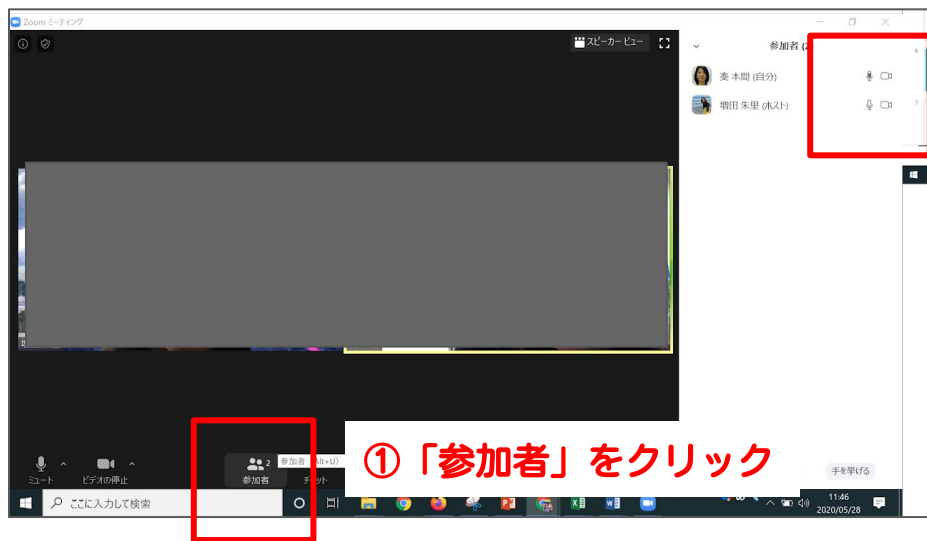


zoomにログインされたら：

1. 出欠確認用にzoom画面でお名前を「団体名＋お名前」に変更ください。

▼zoom画面で表示の名前を変更





こども宅食応援団

2024年度事業説明会

注意事項

- 本日の勉強会の様子を無断に録画等しないでください
- **マイクはミュート、カメラは可能な限りオン** をお願いします
- 今後の研修資料として活用したり欠席者に送付するため、録画をさせていただきます
(写りたくない方はカメラオフでも結構です)
- **zoomのチャット機能で随時質問は受け付けております** ので、いつでもお送りください
※個別具体的な質問は別途 LINEなどで受け付けます。資金助成に関しては別途説明会を予定しています
- 音声・映像の不具合など、視聴に問題が生じた際にも、Zoomのチャット機能を活用してお知らせください
- もしも途中で通信状態等で配信が中断されてしまい、Zoomに入れなくなった際など、その他緊急の際には、
「info@hiromare-takushoku.jp」にご連絡ください

本日の議題

01

こども宅食応援団の中長期計画
及び 24年度の事業方針について

02

24年度事業計画について

- a. こども宅食普及事業
- b. 活動資金助成事業
- c. フローレンスを通じた寄付品譲渡事業
- d. こども宅食赤ちゃん便の普及
- e. こども宅食カレッジ
- f. 質疑応答



Part 1

こども宅食応援団の中長期計画について

こども宅食普及のムーブメント

こども宅食応援団も2023年に5周年をむかえました。



こども宅食普及のムーブメント

振り返ると、2019年10月こども宅食の導入団体数はわずか8団体でしたが、この5年間で24倍の約200団体にまで増加しました。

この頃は、
わずか8団体
でしたが…

親子のつらいを見逃さない社会へ！第一回こども宅食サミット開催しました！

イベント こども宅食サミット

「いいね」やシェアで応援する：



こども宅食応援団は、10月23日にこども宅食応援団初の「第1回こども宅食サミット」を開催しました！全国のこども宅食関連事業者を始め、実務を検討している民間団体や自治体関係者、有識者、国会議員等100名以上に参加いただきました。



こども宅食の広がりと活動実績 (2024年3月時点)

こども宅食を
実施している都道府県

39
都道府県

実施団体が
支援している世帯数

27,350

1年間で
89団体
増えました

こども宅食の
実施団体数

193
団体

実施団体へ仲介を
行った寄付物資

約 42
万個

団体数 24倍に！

こども宅食普及のムーブメント

“異次元の少子化対策”の実現に向け、令和5年12月22日に閣議決定された「こども未来戦略」において、『こども宅食』が子どもの貧困問題の打ち手として言及されるに留まらず、家庭とのつながり作り・見守り機能の重要性から、**児童虐待防止策の打ち手としても明記**されました！

こどもの貧困対策・ひとり親家庭の自立促進

- こどもの貧困を解消し、貧困の連鎖を断ち切るため、こどもの生活支援、学習支援を更に強化するとともに、ひとり親家庭に対し、児童扶養手当の拡充のほか、就業支援、養育費確保支援などを多面的に強化する。

(貧困を解消し、貧困の連鎖を断ち切るためのこどもへの支援)

- ひとり親家庭や低所得子育て世帯のこどもに対する伴走的な学習支援を拡充し、新たに受験料等を支援することで進学に向けたチャレンジを後押しする。
- また、こどもたちが、貧困によって食事が十分にとれなかったり、様々な体験に制約を受けることがなくなるよう、貧困家庭への宅食を行うとともに、地域にある様々な場所を活用して、安全・安心で気軽に立ち寄ることができる食事や体験・遊びの機会の提供場所を設ける。こうした取組を通じて、支援が必要なこどもを早期に見出し、適切な支援につなげる仕組みをつくることにより、こどもに対する地域の支援体制を



児童虐待防止・社会的養護・ヤングケアラー等支援

- 改正児童福祉法による包括的な相談支援体制の構築などの体制整備を着実に実施するとともに、こども・若者視点での新たなニーズに応じた支援やアウトリーチ型支援などを強化する。

(虐待の未然防止)

- 子育てに困難を抱える世帯やヤングケアラー等に対するプッシュ型・アウトリーチ型支援を強化するため、こども家庭センターの全国展開を図るとともに、学校や地域とのつなぎ役の配置などにより、子育てに困難を抱える家庭やこどもの SOS をできる限り早期に把握し、必要な支援を届けるための体制整備を推進する。また、子育て世帯への訪問支援などの家庭支援事業を拡充するとともに、宅食などのアウトリーチ支援を充実する。
- 妊婦健診未受診の妊婦などを必要な支援につなげるため、継続的に訪問支援を行う

画像引用: 日テレニュース https://youtu.be/Ku8dZ88qfA?si=63FEB_SiTM7arfs1t

「こども未来戦略」https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/kodomo_mirai/pdf/kakuikettei_20231222.pdf

こども宅食普及のムーブメント

こうした普及が進んだのも、この5年間で、現場の皆様が、こどもたちの「今」のために！と、食をきっかけに、つながりつづける支援と課題解決に向けた実践を積み重ね、「**SOSを出せない、支援が届きにくい子育て家庭がいるから、支援者側が出張ってアウトリーチしなければならない**」という課題の認知を広げてくださったからです。本当にありがとうございます！！



映像クリエイティブユニットThe Creation HUBさんより「こども宅食とは心のドアをノックする取り組み」


全国10カ所で「親子の支援を語ろうキャラバン」を開催

2023年度は全国10カ所で、親子の支援に携わる地域の団体がつどい、語り合い、**「地域みんなで親子を支えるつながり」**を深める取り組みとして、「親子の支援を語ろうキャラバン」を開催。計224名の参加。ご協力いただいた皆様、ありがとうございました！





しかし、依然として、こども宅食などの
伴走型のアウトリーチ活動は
全国で非常に不足しています...



日本の子どもの7人に1人が
相対的貧困 **200万人***

このうち、「**SOSを出せない、支援が届きにくい子育て家庭**」の割合を3割と見積もっても、

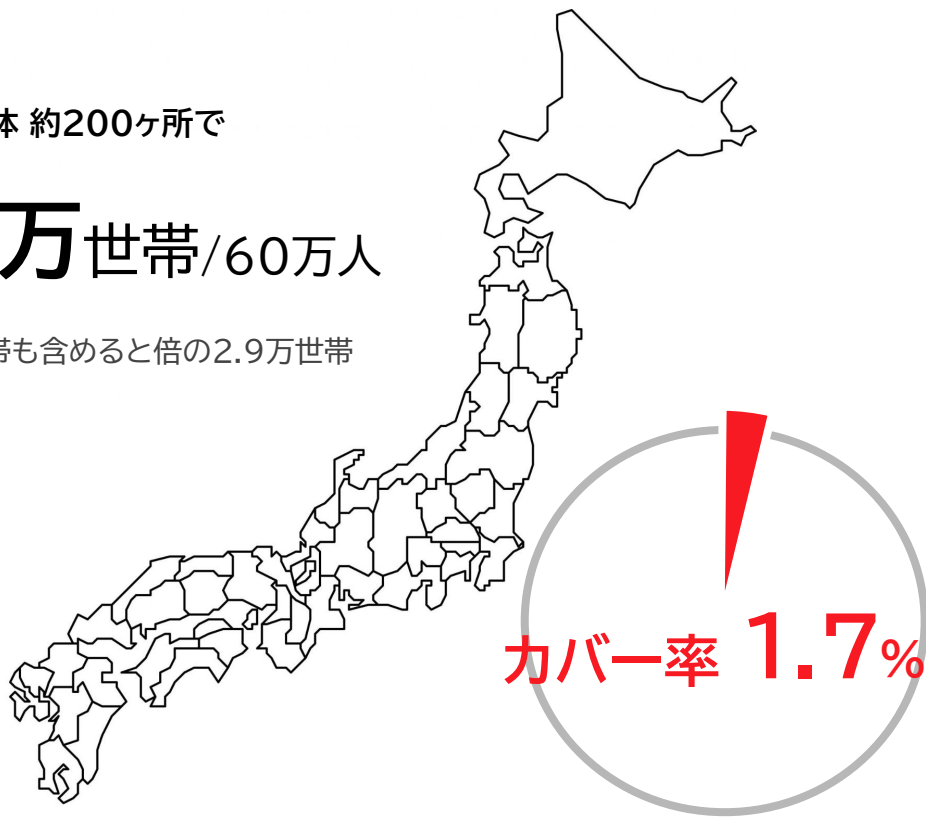
全国に **60万人**

* 15歳以下子どもの数1,465万人(2022年4月1日総務省統計)
* 相対的貧困率 厚生労働省の国民生活基礎調査(2021年)15.4%

応援団が連携するこども宅食の導入団体 約200ヶ所で

支援世帯数 約**1.4万**世帯/60万人

※パントリー形式による定期的な見守り世帯も含めると倍の2.9万世帯



A red toy truck is positioned on a stylized map of Japan, which is colored in yellow, pink, and red. The truck is moving from right to left, leaving a green trail behind it. Several cardboard boxes are scattered around the map, and a light green thought bubble is positioned above the truck. The background is a light blue and white surface.

「こども宅食」×〇〇を、もっと全国へ！

「こども宅食」を、もっと多くの団体に知っていただき、
活用してもらえらるためのアクションを！

ビジョン（私たちが目指す未来）

**すべてのこどものとなりに
ぬくもりを。**

ビジョン

すべてのこどものとなりに、ぬくもりを。



ぬくもり = こどものとなりに寄り添う「人」と、
あたたかな「食」という **こども宅食の原点**を指します。
「こども宅食」が届けていく「ぬくもり」が、地域の当たり前になる。
身近に暮らす人たちが、互いに声をかけあい、
どんな人も「誰かに頼っていいんだ」と、思える。
親子の暮らしがぬくもりで溢れる未来が、私たちのビジョンです。

ミッション（私たちの使命）

今日を生きる子どもたちのために、

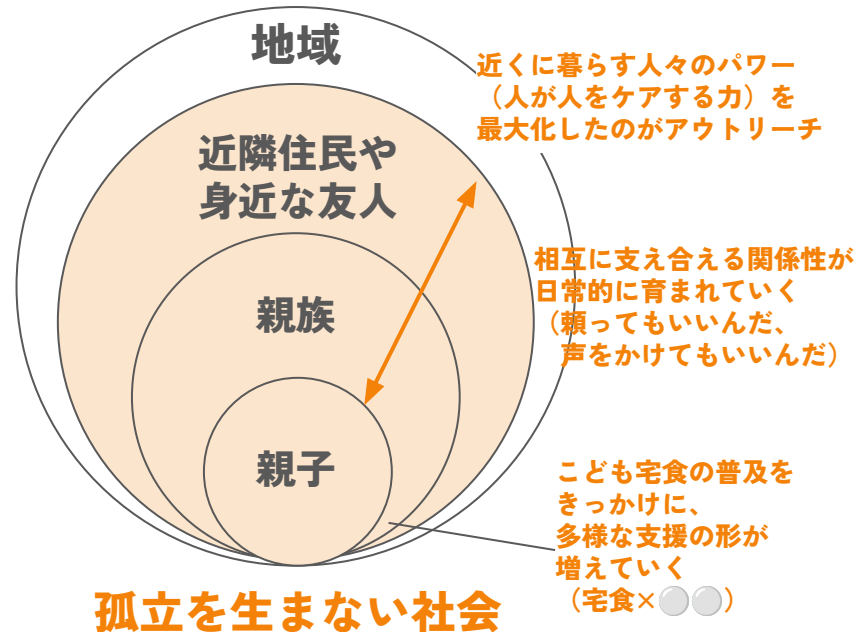
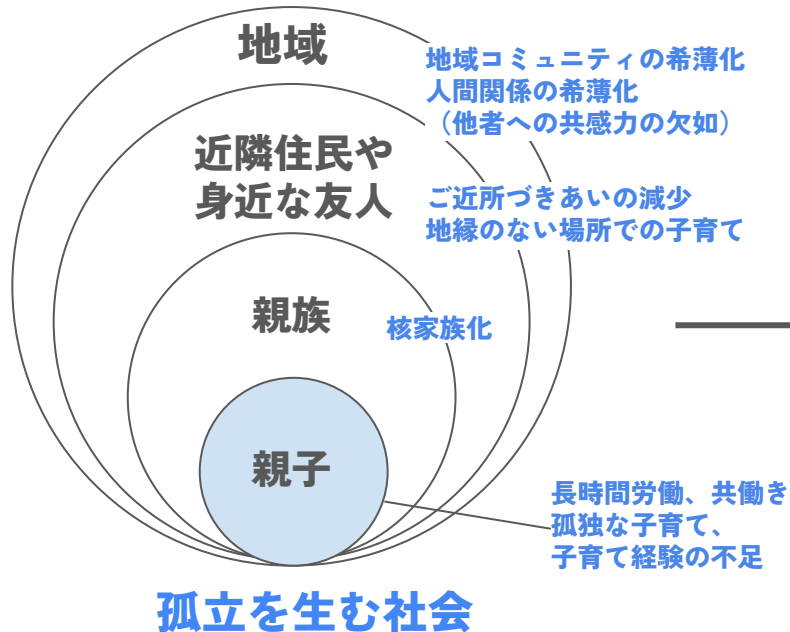
多様な人々が手を携え

孤立を生まない社会を創る

孤立を生まない社会の概念図（目指したい子育て環境の変化）

ミッション

今日を生きるこどもたちのために、
多様な人々が手を携え、孤立を生まない社会を創る

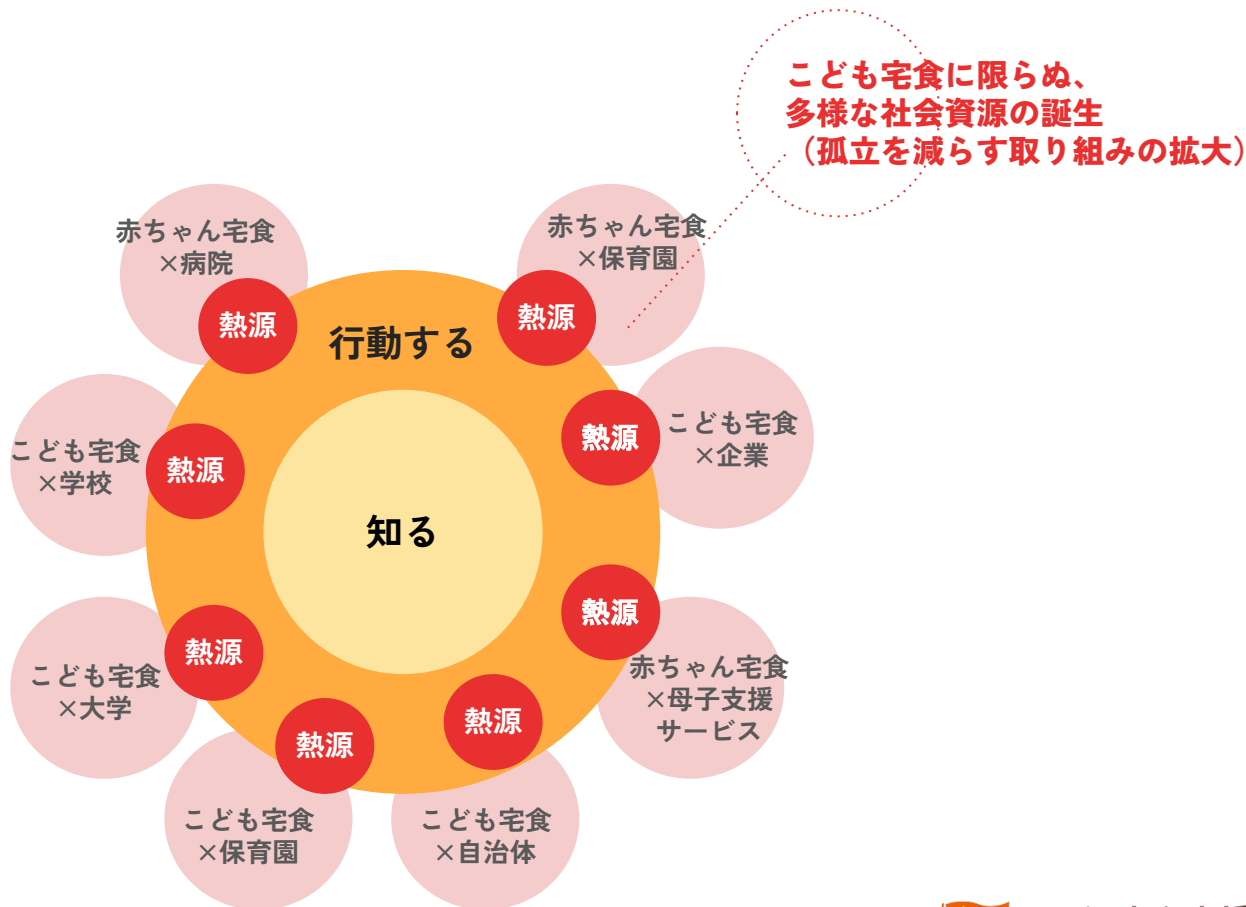


多様な人々が手を携える = ムーブメントの概念図

熱源とは：

親子の社会的孤立の解決に“共感”を抱き、自らの問題として行動・発信していく、「主体的な意思を持った熱のある人々」のこと。

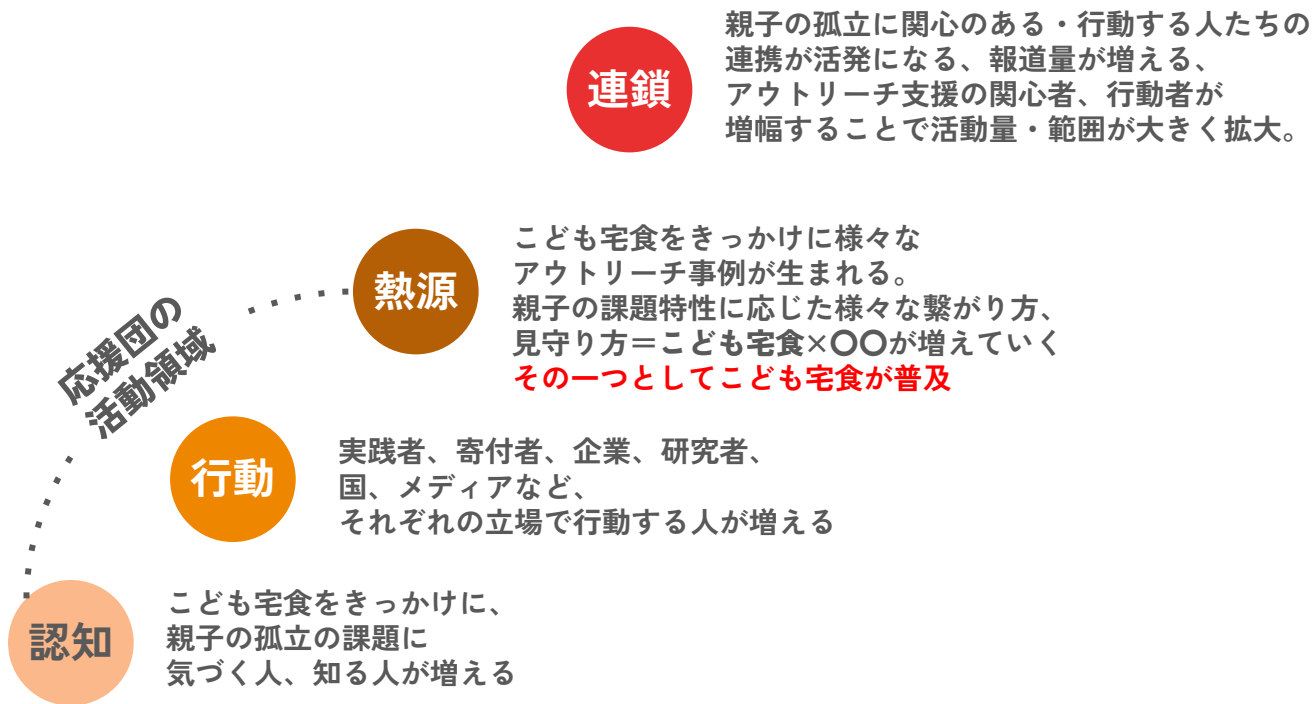
熱源によって形成されるコミュニティが増えていくと、その賛同が連鎖・連帯していき、やがて取組や活動自体が自発的に増殖拡大していきます。



多様な人々が手を携える = ムーブメントの概念図

「孤立を生まない社会」を創るために。地域や業界を超えて、さまざまな人々と協働し、親子のもとへと直接支援を届ける「多様なアウトリーチ支援」の創出に取り組みます。

親子の孤立解決に取り組む人々の活動量



親子の孤立を生まない社会へ

地域や親子の特性に合ったさまざまな「頼れる人」「頼れる機会」が親子の身近に溢れている状態。支え合う関係が日常化していく

時間

中長期目標

こどもの生活圏域（中学校区に1つ）に
「こども宅食」などのアウトリーチ機能（ツール）
がある状態をつくる！

※KGI：こども宅食等が実施されている生活圏域が9000箇所

こども宅食で目指す成果

こども宅食応援団では、「こども宅食で目指す成果」を目指して活動している団体すべてを応援しています。

こども宅食で目指す成果

他者からの支援を受けづらい状況にある家庭に対して、以下の1と2、または1-3を提供することができる

1

とどける

継続的に食支援を行い、
生活を楽しむ
ことができる
(少しでも!)

2

つながる

会うことで
双方向のやりとりが
できる関係性を作り、
孤立と孤独を和らげる

3

つなげる

公的な支援や
宅食以外の支援が
受けられるような
認知的変化を生み出す

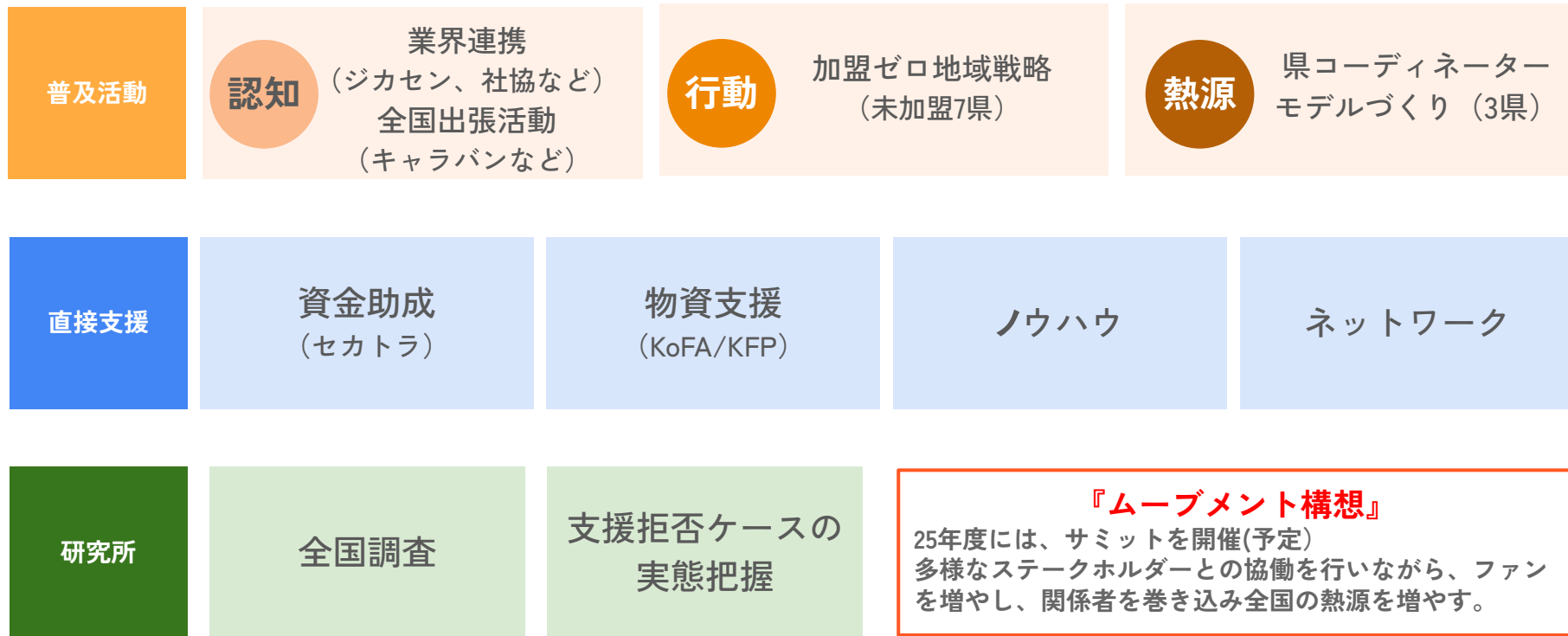


Part2

24年度事業計画について

2024年度子ども宅食応援団 事業概要について

24年度はムーブメントの醸成への準備期間とします。そこで、①**子ども宅食の普及活動を重点テーマ**とし、子ども宅食のファン獲得を目指します。併せて、実施層に向けた②**直接支援（資金/物資/ノウハウ）**も継続し、①②を両輪として事業を推進していきます。



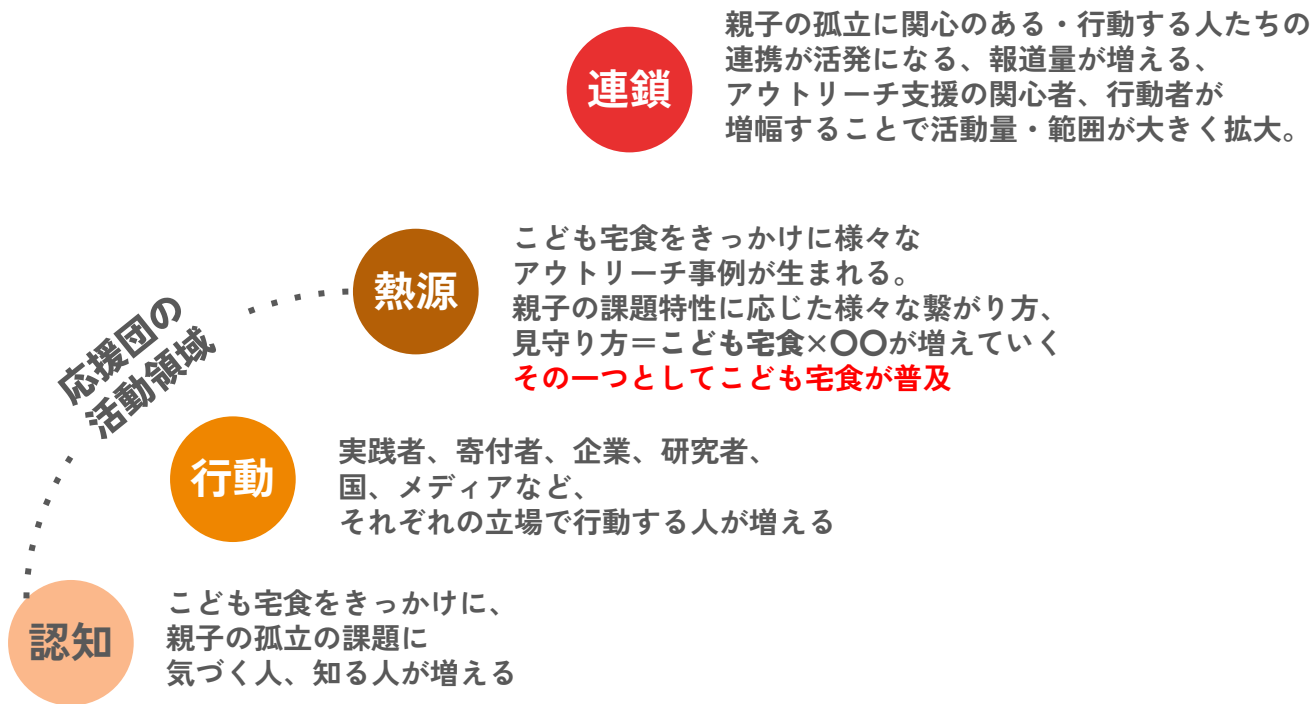
a. こども宅食普及事業



多様な人々が手を携える = ムーブメントの概念図

「孤立を生まない社会」を創るために。地域や業界を超えて、さまざまな人々と協働し、親子のもとへと直接支援を届ける「多様なアウトリーチ支援」の創出に取り組みます。

親子の孤立解決に取り組む人々の活動量



親子の孤立を生まない社会へ

地域や親子の特性に合ったさまざまな「頼れる人」「頼れる機会」が親子の身近に溢れている状態。支え合う関係が日常化していく

時間

2024年度 普及に向けたアクション

「孤立を生まない社会」を創るために。地域や業界を超えて、**さまざまな人々と協働し**、親子のもとへと直接支援を届ける「**多様なアウトリーチ支援**」の創出に取り組みます。

認知

こども宅食をきっかけに、親子の孤立の課題に気づく人、知る人が増える

業界との連携

福祉、こども支援のネットワーク団体との対話の数量を増やし、連携、協働を目指す。【**連携予定団体：ジカセン、社協、食堂、保育園、生活困窮者支援団体など**】

全国出張活動

ネットワーク加盟団体の皆様や関係団体からのお声かけがあれば、全国どこへでも「こども宅食」の認知を広げる勉強会やイベントに**積極的に**出向いていきます！

行動

実践者、寄付者、企業、研究者、国、メディアなど、それぞれの立場で行動する人が増える

登録ゼロ地域

現在ネットワークに未加盟の都道府県が7県（**岩手県 群馬県 山梨県 富山県 滋賀県 三重県 島根県**）2024年度内に全都道府県でのネットワーク加盟を目指す。
※対象地域の情報募集中！

熱源

こども宅食をきっかけに様々なアウトリーチ事例が生まれる。親子の課題特性に応じた様々な繋がり方、見守り方が増えていくその一つとしてこども宅食が普及

県CNモデル

全国的に加盟団体数が多く県単位でのネットワークづくりが盛んな3地域における普及促進と県内における**コーディネーター機能のあり方の分析とモデル化**に取り組む。
実施地域：宮崎県、長崎県、佐賀県





みなさんのお力をかしてください！

「こども宅食」のファン（になりそうな方）をおしえてください！

「こども宅食」の認知を広げる活動にご協力ください！

b.活動資金助成事業



活動資金助成事業

こども家庭庁による令和6年度「ひとり親家庭等の子どもの食事等支援事業」に
もし弊会が採択された場合には（現時点未確定）
活動資金の助成を行うべく、助成先団体を募集する予定です。

事業の目的



こども宅食応援団は「こども宅食」の
全国普及を目指して活動しています。
こども宅食とは**定期的に直接ご家庭に
訪問して食品を届け（アウトリーチ）、**
ご家庭の**状況把握・見守り支援**を行う活動です。

この「こども宅食」による
アウトリーチ支援を実施している、
または実施予定の民間団体の取組を支援することにより、
こどもの貧困や孤独・孤立への緊急的な支援を行います。

助成対象団体



1. こども家庭庁助成要項「助成の対象者」に掲げる
要件を満たしていること

要件：こども食堂等に対する支援活動、
子育て支援に関する活動、ひとり親家庭支援に関する活動又は
生活困窮者支援に関する活動のいずれかについて
1年以上の活動実績を有していること。等

2. 既にこども宅食を実施している又は
3ヶ月以内にこども宅食を開始する準備ができていること
3. 助成終了後もこども宅食事業を継続すること

活動資金助成事業

スケジュール (予定)

- 4月24日 こども家庭庁公募開始
- 5月17日 リーダーズミーティングにて活動資金助成事業概要説明
- 6月中旬 こども家庭庁からの採択（未定）
- 6月下旬 公募開始および活動資金助成事業説明会（より詳細内容）開催予定
- 7月下旬 助成先団体決定

助成対象活動

「こども宅食」を行い、届ける世帯の中で **1世帯以上は定期的に直接ご家庭に訪問(※)し支援をしていること**

※突発的な事情があったときのみ訪問する等は想定（該当）しません。定期的な訪問支援をすることが家庭と合意できていることが前提となります。

支援する世帯

経済的困難を抱え、適切な支援を受けられていないなど社会的に孤立した家庭を対象としていること

支援期間

利用家庭に対し6ヶ月以上の継続した支援を想定した活動であること

状況把握

- ①経済的課題以外の利用家庭の状況を把握し、支援に活用するために必要に応じて記録していること
- ②支援活動に必要な家庭の情報を記載した支援家庭リストを作成していること

定期的な見守り

事務連絡(日程調整など)以外に、家庭と月1回以上のコミュニケーションをとっていること

支援へのつなぎ

様々な課題を持つ家庭に対し、必要な支援を提供する又は必要な支援につなげる体制があること

活動資金助成事業

助成対象期間

2024年8月～2025年1月予定

助成対象活動

- ①対面訪問型支援・②こども宅食赤ちゃん便（対面訪問に限る）
③宅配便型支援・④来所型支援

今期より助成対象に「こども宅食赤ちゃん便」を新たに追加します。

対象は特定妊婦、また現在支援している世帯で乳児（1歳未満）がいる家庭です。

助成対象経費

食事等支援経費（世帯数×上述①②③④いずれかの支援スタイル）

管理運営経費（食事等支援経費の15%） 想定費目：人件費・通信運搬費・旅費・消耗品費

配送経費（上限60万円） 想定費目：人件費・通信運搬費・旅費・消耗品費・燃料費・借料及び損料

活動資金助成事業

助成金の上限

1団体あたり300万円（こども家庭庁要綱より）

※応募多数が想定される場合は上限額を修正する可能性あり

1世帯あたり上限額 ①対面訪問型：3000円/月 ②赤ちゃん便：4000円/月

③宅配便型：2500円/月 ④来所型：2500円/月

※赤ちゃん便に関しては乳児期特有の支援物資が必要となるため、その分の費用がかかることを踏まえた金額設定としています。

助成額決定の背景

先に説明したこども宅食の成果を出すための方法は様々あると思いますが、
応援団は「対面訪問型のこども宅食」という活動を広げていきたいと考えています。

それは、対面訪問型のこども宅食はツールとして使いやすい点が多く、
また、『周囲の目が気になる』という方や、様々な理由で支援の場に来られない等の世帯に対しては
特に成果を出しやすいと考えているからです。

これを踏まえ、対面訪問型のこども宅食を実践する団体の活動を重点的に支援するとともに
こども宅食の全国普及を後押しするために、要件の明確化や支援スタイルによって世帯当たり単価の設定をしています。
趣旨をご理解いただき、1世帯でも多く対面型訪問型による支援にチャレンジしていただけることを願っています。



活動資金助成事業

直近の状況

資金助成事業の財源となるこども家庭庁補助事業は、今回で5回目となります。

事業開始当初からみると

- ・補助事業に手上げる中間支援法人が増え、1団体あたりの受託額が減っている
 - ・こども宅食実施者ネットワークへの加盟団体が倍増
- という2つの大きな変化がありました。

25年度以降の方針

上記の背景を踏まえ、限りある予算の効果的な活用のため、来年度以降の資金助成事業は「**立ち上げ期の団体**」を重点的に支援していく方針としています。

※立ち上げ時に必要な諸経費を支援することで、事業立ち上げのハードルを下げるため

※活動資金が安定しないことによる短期間での事業打ち切りを防ぐため

みなさまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

※その代わりに、次のパートでご説明する寄付品譲渡事業については、長年地域で活躍頂いている団体様にもお受取り頂けるよう、機会を確保していく所存です。

c. フローレンスを通じた 寄付品譲渡事業



種類		入数	18P
賞味期限			入り
保存方法	お買上げ後は冷蔵庫(10℃以下)で保存して下さい		
原産地	国産		
使用方法	生で食べる場合は、賞味期限内に使用し、賞味期限経過後及び卵にヒビの入った卵を卵食に供する場合は、なるべく早めに、廃棄処分処理してお出し下さい		
計量責任者	西山 誠		
住所	(株)清水正商店 徳山市栗野町2-5287番地1 TEL 0967-27-5580		

寄付品譲渡事業とは

応援団では、ご家庭への訪問および対話の補助を目的として寄付品をお配りすることがあります。これは、応援団が皆様にご案内・申込みを管理し、グループ法人たる認定NPO法人フローレンスが寄付品を集め・お届けするという「**フローレンス・こども宅食応援団の二社合同事業**」です。寄付品を受領頂けるのは「**寄付品譲渡に関する覚書**」を**フローレンスと締結済みの団体様**に限ります。

覚書では、以下をお約束頂いております。

目的

経済的事由等により
困難を抱える子育て
家庭・児童・その他生活の
困窮や災害等により
支援を必要とする人への提供

寄付品の利用範囲

こども宅食事業を主とし、
経済的事由等により
困難を抱える子育て家庭・
児童・その他生活の困窮や
災害等を理由とした
支援対象者への提供に限る。

禁止事項

- ①有償譲渡及び
転売による現金化と
- ②金銭その他の
有価物との交換



お願い...寄付品は可能な限り「こども宅食」ご利用家庭にお渡し下さいませ。子ども食堂、フードパントリーなど複数の事業を実施されている場合、こども宅食事業で余った分を他事業にご活用頂くことは結構です。

ひとつひとつ、ご家庭に喜ばれるであろう食品や日用品を選んでお届けしますので、是非ご家庭との新しい接点づくりや、より良い関係性構築の進展のためにご活用下さい!!

急な仕組みの変更のお詫びとお願い

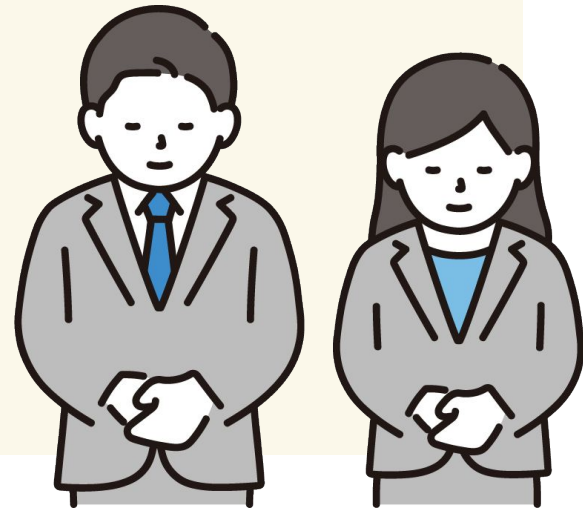
昨年度の寄付品配送事業は、一部こども家庭庁の助成金を活用して全国へお届けしておりました。しかし、今年度こども家庭庁の制度で急な変更があり、今年度は7月・11月・2月に寄付品譲渡を予定していましたが、配送費を弊会で全額負担することが出来なくなってしまいました... (涙)

寄付品を希望される団体さんには、配送費の自己負担をお願いする予定です。ただし、**資金助成を受ける団体さん分**については、こども家庭庁と調整の結果、事務局側で負担・精算することが決定いたしました。(実質負担無し／助成資金に上限額に変更はありません)

「こども宅食応援団の資金助成を受けないで、寄付品だけは欲しい」という場合大変恐れ入りますが、今一度、資金助成の申請をご検討をお願いいたします。

他の中間支援団体から助成を受けたり他財源を活用されている団体さんについては、「配送費を自己負担頂く」ことで寄付品を貰って頂く方法を模索していますが**急な制度変更を受けて、現時点ではお約束しきれない状況です。**

「どうしても、こども宅食応援団の資金助成への申請はできないが、支援物資は欲しい」という場合
5月中/できるだけ早く個別に応援団公式LINEにてご相談下さい。



これまでのお届けの実績：昨年10月配送の場合

【主食】

- ・結束スパゲッティ
- ・MARUCHAN QTTA
- ・魚介豚骨まぜ麺
- ・明太子まぜ麺
- ・具麺
- ・パスタ用クッキングソース
- ・パパッとライス
- ・カップヌードル
- ・切り餅

【飲料】

- ・野菜生活 100 濃厚果実
- ・粧甘酒LL
- ・クラフトボス いちごオレ
- ・カフェオレベース
- ・緑茶ボトル
- ・ルイボスティールボトル
- ・ザンビアエチオピアコーヒー
- ・スターバックス プレミアム

事務局
で種々
組合せ

【副菜・調味料・他】

- ・みそ煮込みカレー
- ・ポークカレー
- ・カレー中辛
- ・いわし蒲焼
- ・おうちスープポタージュ
- ・ほんだし
- ・味の素えごま油
- ・お茶づけ海苔
- ・国産しその香
- ・ウェットティッシュ

【甘味・菓子】

- ・キャロットゼリー
- ・コアラのマーチ
- ・ビスコ
- ・味しらべ
- ・シスコークッキー
- ・カントリーマアム
- ・果汁グミ
- ・寒天のジュレ
- ・フルーツカクテル
- ・ラクラッシュ
- ・満点寒天黒糖

東北500世帯支援団体様

4,280点 / 約**808,920円**

配送費 **66,000円**

関東 30世帯支援団体様

266点 / 約**50,274円**

配送費 **2,100円**



企画の年間スケジュール

2-3ヶ月に1回は「ご家庭との関係性づくり」に役立つ支援物資の入手機会を得られるよう、企画を予定しております。

全企画、申込み制です!!

「じぶんページ」を通じた申込みが必要です。メール・LINEをお見逃しなく。

また、全企画についてどの団体様でもお申込み可能ですが、量の多寡においては、

特定の団体が優先対象となりうる点をご了承下さい。（発災後～1年以内の被災地域や、新規のこども宅食立上げ団体等）

企画	ご寄贈主様			寄贈商品の見込み			数量の見込	プロジェクト呼称			
①	日本アクセス様および協賛企業様			麺類、飲料。レトルト食品、日用品			約7~10万点	※「こどもフードアライアンス」プロジェクト第1回			
②	日本アクセス様および協賛企業様 明治HDハピネス基金（社員様ご寄付）			お菓子・レトルト食品 ※2種の寄贈の合同配送となります			約15万点	※「こどもフードアライアンス」プロジェクト第2回			
③	日本アクセス様および協賛企業様			麺類、飲料。レトルト食品、日用品			約7~10万点	※「こどもフードアライアンス」プロジェクト第3回			
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
お申込		▲ 企画① 資金助成の 公募開始と 同時申込み				▲ 企画② 10月中旬申込			▲ 企画③ 1月中旬申込		
お受取			① 7月末 配送				② 11月末 配送			③ 2月末 配送	

継続して応援いただいている寄付者様（1）

ACCESS

日本アクセス

日本最大級の食品卸として、約10,000社の食品メーカーやスーパー等の販売事業者のパートナーに食品の流通課題解決を行う。

アクセス様の呼びかけに応じて、

これまでに大手食品メーカー**35社**が日本全国の

こども宅食に食品を寄付

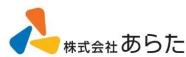
23年度の寄贈品実績数 **25万点**



味の素株式会社



味の素AGF株式会社



株式会社あらた



岩塚製菓株式会社



エスビー食品株式会社



キーコーヒー株式会社



サトウ食品株式会社



株式会社J-オイルミルズ



昭和産業株式会社



たいまつ食品株式会社



株式会社永谷園
ホールディングス



日清シスコ株式会社



日清食品株式会社



ネスレ日本株式会社



はごろもフーズ株式会社



株式会社不二家



ポッカサッポロフード
& ビバレッジ株式会社



株式会社ホテイフーズ
コーポレーション



マルハニチロ株式会社



丸美屋食品工業株式会社



株式会社マンナンライフ



株式会社 明治



ヤマサ醤油株式会社



UCC上島珈琲
株式会社

継続して応援いただいている寄付者様（2）

meiji 明治ホールディングス

[ネクストストーリーズ](#)

[明治グループについて](#) ▾

[イノベーション](#) ▾

[サステナビリティ](#) ▾

[株主・投資家情報](#) ▾

[トップページ](#) ▾ [サステナビリティ](#) ▾ [トピックス](#) ▾ 2023

社内募金制度「明治ハピネス基金」からこども宅食団体に明治商品を寄贈

▸ [明治グループのサステナビリティ](#)



皆様へのお願い

民間の企業様をより多く・大きく巻き込んでいくことで、皆さんに熱烈な応援を届けたいと思います。

ご家庭と、ご家庭に伴走する中で現れてきたことをエピソードとして
伝えて下さる団体さんを募集いたします！！
是非、取材に伺わせて下さい（目下、8月を想定）

こども宅食（アウトリーチ・ご家庭への長期伴走）活動の意義を世の中に発信していくべく、ご家庭と皆様との間に生まれた新しい会話や関係を、寄贈主の企業の方々にも共有したいと考えております。こども宅食は時間をかける支援だと思えます。その時間の中で得られた様々な前向きな変化を伝えていきたいと思っています。

例えば、こんな変化が...

あるいは、皆様が苦心されているようなことも...

3年かけて、
こんなお子さんの
成長が見られた！

半年間支援して
初めて、
居場所の方にも
来てくれた！

なかなか・
ずっと会えない
ことが続いている

「断る」ことが
時にはキッカケに、
でも勇気がある

ご家庭に生まれているかも知れない変化のイメージ

「1回の支援」では生まれない、時間がかかった先にある変化（タイパの逆）の価値を可視化する

食品をとどける

家庭とつながる

支援につなげる

まず出会う

くれるって言うなら、
まあ、もらうか…

何度も何度も通う!

私心(下心)なく
来てくれてるんだな

ひょっとして気にかけて
くれてるのかな?

わざわざ届けて
くれてありがたい

困っているところを
見せても大丈夫だ

話せる、頼れる人かも
知らない

相談してみようかな

「あの、子どもの
学校のね、…」

d. こども宅食
赤ちゃん便の普及



こども宅食赤ちゃん便とは？

「特定妊婦」など妊娠期から何らかの心配があり、
自分からつながることが困難な家庭に
アウトリーチでつながりをつくる



孤立出産や
0歳0か月乳児の
虐待死を予防する



出産後の親子の
生活のたて直しの
サポートをする

対象時期



妊娠4ヶ月頃から

妊娠初期

(妊娠届、母子手帳交付)
～乳幼児全戸訪問

1歳6ヶ月健診で
見守りが必要と
判断された親と子

3歳児健診で
見守りが必要と
判断された親と子

※継続した
つながりが必要と
判断した場合は延長

1歳半

3歳

こども宅食赤ちゃん便の「3つのアクション」

ステップ1

心配のある親子に
とどける

ステップ2

心配のある親子と
つながる

ステップ3

地域の社会資源に
つなげる

「こども宅食赤ちゃん便」2023年度の実績

2024年1月には、「こども宅食赤ちゃん便」のオンラインで全国事例共有会を実施。
実際に事業を開始したい団体にトライアル資金助成を行った（※新規に、全国7ヶ所）

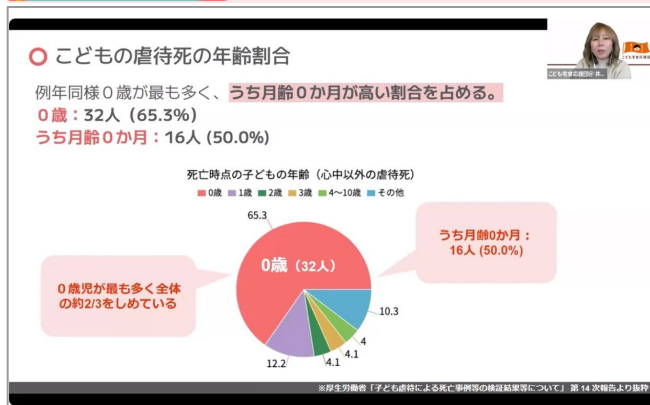
オンライン勉強会

こども宅食赤ちゃん便とは

実例から学ぶ、
妊婦からの
切れ目ない支援について

2024年
1月
23日

13:00PM
15:00PM



赤ちゃん宅食をはじめたきっかけは、
コロナ禍の中で保護者から届いた「生活の苦しさ」の声

2020年3月コロナ禍のなか学校休校に伴いアスタの教室も閉鎖してしまいました。私たちになにかできるかと考えていた中で保護者から「収入が減り、仕事もない、子どもたちが泣いてしまうものがない」という声が響きました。毎月の0歳児以上に食品をお渡しする中で普段教室では見なかった子どもや保護者の「生活」が見えてきます。ソーシャルワークのツールとして食品を届け必要なサポートを届けたいという思いから宅食がスタートしました。



“ 妊娠中からつながり、支え、安心して子育てできる環境をつくる ”

こども宅食赤ちゃん便
実施団体 募集
資金助成



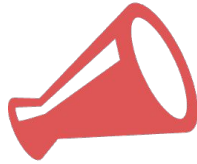
こども宅食赤ちゃん便の2024年度の普及活動



勉強会の開催

時期：12月頃を予定

内容：未定



広報の強化

- ・賛同企業との
コラボレーションによる広報
(未定)
- ・事例等の積極的な発信
- ・HPへの事業紹介ページ創設 など

企業より
寄付があった場合は、
随時お知らせします！



実施団体への活動サポート

前述のとおり、

**赤ちゃん便を対象として
資金助成を行います。**

今回の資金助成は以下の理由により、
乳児(1歳未満)がいる世帯を対象とし、
世帯当たり月単価を増額して支援します。



**出生前後の初期段階から家庭と
つながることをポイントとしている**



**乳児期特有の
支援物資が必要となること**



**赤ちゃん用品などの
物資サポート (未定)**



e.
こども宅食カレッジ



新規団体の立ち上げ支援



オンライン！こども宅食 立ち上げ相談会を開催します

こども宅食を
立ち上げたい方

こども宅食に
何か協力したい方

こども宅食に
関心がある方

立ち上げ相談会に参加してみませんか？！

【日程】 2024年6月、9月、12月、2025年2月(日時未定)

【場所】 オンラインツールzoomを使用

【対象】 こども宅食を立ち上げたい方／こども宅食に興味がある方 など

【料金】 無料

【定員】 各月10人程度

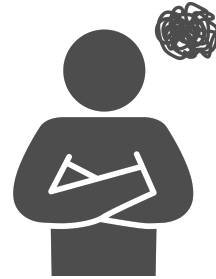
【お申込み方法】 詳細は当方のHPにてお知らせ致します。

お知り合いの方にぜひお声掛けください♪

自治体との連携についてヒントを得る

自治体の補助事業を受託したいけど
どのようにアプローチしたら
いいんだろう...

こども宅食の活動を
継続的に実施していきたい...



寄付や助成金だけでは
活動が安定せず不安・・・
自治体の予算をつけてほしい...



活動を行っていくうえで自治体と連携したい、もっとこの地域をよくしていきたい！の思いについて、
自治体ロビーを円滑に進めるための解決の糸口が見つかる場になるかもしれません。

【日程】 2024年11月-12月頃(日時未定)

【場所】 オンラインツールzoomを使用

【対象】 こども宅食実施者団体

【料金】 無料

【申込方法】 詳細が決まりましたらご案内いたします

サークル活動

全国の宅食実施団体との交流、どこからでも参加できる！
学びと人脈が手に入る場「宅食カフェ」「宅食シェア会」を開催します。

年に
2回予定

悩みを仲間と共有し、
アイデアを出し、支え合う

宅食カフェ

実施団体間での
オンライン
ディスカッションや
お悩み発散の場。

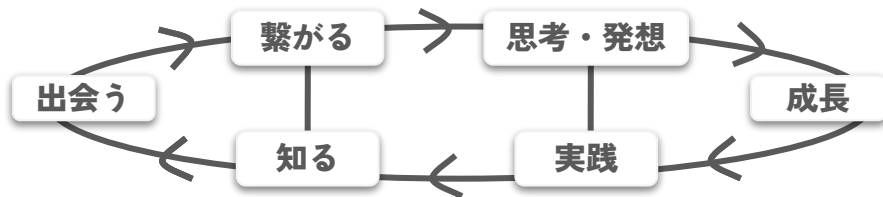
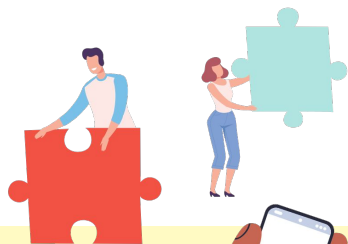
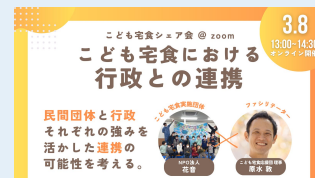


年に
1回予定

刺激的な学び合いで、
新しい気づき発見を生む

宅食シェア

全国各地で活躍する
実施団体と「つながって」
事例を「きいて」
「かंगाえる」場。



さらに、実施団体の皆さんへさまざまな情報を
定期的にお伝えする「メールマガジン」をはじめます！